岩盤ボーリング柱状図

調査名	砂防激甚災害対策特別緊急事業に伴う測量・設計業務委託（ボタ谷川）
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	R2-Bor.No.2	調査位置	広島県呉市宮原	北緯	34° 13′ 35.7608″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	令和2年 9月15日～ 令和2年 9月16日	東経	132° 33′ 38.4045″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 116.63m	角度	180° 上 90° 下 0° / 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	8.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦製　DO-DR型
				エンジン	ヤンマー TF-90M
				ポンプ	組込みBG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
	115.98	0.65		礫混じり砂	暗茶褐 黄褐									
1 2	113.63	3.00		強風化花崗岩	黄茶褐	w3	h3	E	VI	d	DL		表層。細～中砂主体。φ2～3mmの亜角礫を含む。全体に植物根混入。GL-0.00～0.20mは暗茶褐で有機物が多い。GL-0.50m付近，maxφ10mmの礫を含む。強風化花崗岩で指圧で容易につぶせる。GL-2.80～2.90m，粗粒化。	
3 4 5	110.63	6.00		風化花崗岩	黄茶褐						DM		風化花崗岩でハンマー軽打で容易に崩れる。GL-5.90～6.00mに細粒質で硬質な部分を含む。	9/16 4.80
6 7 8	108.63	8.00		風化花崗岩	黄茶褐～灰茶褐	w4			V		DH		風化花崗岩でハンマー軽打で容易に崩れる。GL-7.80m付近に細粒質で硬質な部分を含む。GL-7.19m以深，礫質が優勢。	
9 10 11 12 13														

標準貫入試験

N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.15 / 1.45	12 / 300		
7	2.15 / 2.45	7 / 300		
23	3.15 / 3.45	23 / 300		
23	4.15 / 4.45	23 / 300		
39	5.15 / 5.45	39 / 300		
50以上	6.00	貫入不能		
50以上	7.05 / 7.18	50 / 140	140	
50以上	8.05 / 8.18	50 / 130	130	

深度－N値図

原位置試験	室内試験	削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
			60		N/M	1	70	0	WJ 0	0
			80	66／ケーシング	W／M	1	80			
		9/15 9/16	70	66	W／M	2	80	1	W2 10	10